

しんおんせん

議会だより



今年もユニークな参加者がたくさん「全日本かくれんぼ大会 (6月15日)」

平成26年度 6月定例会 条例改正 報告・補正予算・請願書・意見書	P2~4
一般質問 (質問者9名)	P5~13
委員会報告 (3常任委員会)	P14~16
採決一覧、議会日誌	P17
みんなの広場 (送り火の会)	P18

しんおんせん議会議会だよりは、四季折々の色で印刷しており、今回は空と海のブルーです。

「地域おこし協力隊」で町を元気に!

賛成多数で可決

平成26年6月第67回定例会は、平成26年6月3日から6月16日を会期として招集されました。今定例会には請願1件、報告6件、条例改正4件、意見書3件、平成26年度各会計補正予算9件が提案され、意見書1件の不採択を除き賛成多数で可決、承認されました。その内容についてお知らせします。

条例改正

新温泉町非常勤の嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(説明) 都市住民を地域協力活動に従事する非常勤の嘱託員(地域おこし協力隊員)として採用し、その定住及び定着を図るとともに地域の活性化を促進するため。

Q なぜ、このような嘱託員が必要になったのか。月給16万5千円で定着(生活)できる

のか。

A 田舎暮らしの潜在要望がある。3年間で地盤作り。仕事は漁業と観光関係の仕事に従事していただく。9月には活動費等の補正もしたい。報酬に不都合があれば改正したい。

Q 事業が不明瞭、仕事を明確にしないと応募者が困る。週4日で仕事になるのか。

A 観光の情報発信や一次産品の流通分野に力をいれたい。更に将来的には限界集落の対策にも発展させたい。募集段階では明確にしたい。

Q この嘱託員はプランナーであってほしい。制度ありきしか見えない。

A 当面の行政課題のもとでの制度導入である。地域や団体との連携を保ちながら目標に近づけたい。

新温泉町税条例等の一部改正

(説明) 地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い所要の改正を行う。

Q 町民法人税の税率が9%に減額だが、なぜ税収減とならないのか。全国チェーンの進出による町民税の動きは。

A 税率改正の適用が本年10月1日以降1年後の決算のため本年度には影

響が薄い。総従業員数を分母に事業所の従業員数を分子にして、その率で配分される。税制の改正により個人町民税は大きく落ちている。

Q 軽自動車税が大きく増額となっているが、なぜ標準税率なのか。

A 軽自動車税と自動車税の格差は正が基本、全国どこに住んでも同じサービス・負担であるため標準税率を適用している。



増税となる「軽自動車」

地域おこし協力隊とは…

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、興味や意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取組です。具体的には、地方自治体が都市住民を受入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、一定期間以上、農林漁業の応援、水源保全・監視活動、住民の生活支援などの各種の地域協力活動に従事していただくながら、当該地域への定住・定着を図っていくものです。



町を元気に！ 一斉スタート

新温泉町国民健康保険条例の一部改正

(説明) 地方税法施行令の一部を改正する政令の交付に伴う改正及び平成26年度国民健康保険税率の改正を行う。

Q 医療費が伸びていないがなぜ増額か、払うことができる限度を超えていると思うが。
A 年度対比では微増今後、減になるとは見込めない。低所得世帯には7割、5割の軽減措置を適用したい。

反対討論

谷口 功議員

40代夫婦で子ども2人のモデル世帯で、給与収入170万円、課税所得100万円の世帯では国保税約18万8千円となり、5割軽減対象となる。昨年比2万4千円の増税である。

同じく4人家族で給与収入310万円、課税所得200万円世帯の場合、国保税は39万円となり、昨年より4万5千円の増税で、軽減対象にはならない。これで、負担能力に応じた課税といえるのか。

悪政のもと、年金の削減、消費税増税、物価の高騰等、家計と営業が圧迫される中、負担能力を超えた課税は、滞納を増加させ悪循環となる。国保は主要な社会保障制度の一つであり、これ以上負担を増やすことは認められない。

新温泉町福祉医療費助成条例の一部改正

(説明) 兵庫県の福祉医療費助成事業実施要綱及び母子家庭等医療費給付事業実施要綱の改正に伴い、所要の改正を行う。

Q この対象となる本年度65歳になる人数は、2割負担になるのか。

A 対象者は326名、2割負担となる。

反対討論

中井次郎 議員

老人、重度障がい者(重度障がい児を含む。以下同じ)、乳幼児等、母子、父子、遺児及び寡婦に係る医療費の一部を助成し、これらの者の福祉の増進を図ることを目的としている。

今回、兵庫県の制度改正に追従し、改悪することは許されない。

報告

平成25年度一般会計・浜坂地区残土処分事業・下水道事業特別会計・水道事業会計予算繰越計算書の各報告及び平成25年度兵庫県土地開発公社、第26期営業年度株式会社温泉町夢公社の各事業報告及び財務諸表の報告がそれぞれ提案され賛成多数で承認されました。

繰越計算書とは…

事業の性質上、又は何らかの事情でその年度内に支出を終わらない見込みがある経費(例えば、地元との調整が長引いて工事が遅延したなど)について、翌年度に繰り越して使用する事ができるように議会の議決を経る。実際の繰越額や繰越財源を明らかにし毎年5月31日までに作成し、議会に報告することとされている。



少人数学級推進等の請願を採択

一般会計補正予算

請願・意見書

補正予算

この度の一般会計補正予算は、4月に行われた人事異動に伴う人件費の補正が各費目全体にわたって調整されました。

また、新規の事業で主なものは、総務費では、社会保障・税番号制度構築住基システム改修業務140万6千円の増額。民生費では懸案であった共同作業所の施設改修が決まり設計管理委託料と工事請負費を合わせて1,963万8千円の増額となりました。また、地域おこし協力隊制度の導入実施により農林水産業費と商工費にそれぞれ1名の嘱託員報酬198万8千円の増額となりました。

今回の補正は、7

平成26年6月補正予算（一般会計・特別会計・企業会計）

（単位：千円）

会計名		6月補正額	補正後予算
一般会計		増額 37,164	9,934,164
特別会計	国民健康保険事業	増額 2,220	2,062,271
	介護保険事業	増額 76	1,698,742
	浜坂地区残土処分事業	増額 20	78,685
	温泉地区残土処分事業	減額 498	20,099
	下水道事業	増額 45	915,595
公営企業会計	浜坂温泉配湯事業	増額 12	90,207
	水道事業	増額 14,681	1,007,476
	公立浜坂病院事業	減額 3,386	2,258,766

16万4千円を増額し、一般会計予算は総額99億3,416万4千円となりました。また、併せて国民健康保険事業特別会計補正予算ほか5件、水道事業会計補正予算ほか3件も議案上程され、賛成多数で可決承認されました。各会計の補正額は次の表のとおりです。

請願書

● 少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する件
（全会一致で採択）

● 医療・介護総合法案の廃案を求める意見書の提出について
（採択）

意見書

● 集団的自衛権行使を容認する憲法解釈変更に反対する意見書の提出について
（不採択）

● 少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について
（採択）



改修が決まった共同作業所建物（現医師住宅）

採択された意見書は、国会及び政府関係機関へ提出した。

一般質問

問

消滅可能性自治体上位ランクの感想は

町長 止める決定打はない

進む人口減少の本質

てを講ずるべきと思う
がどうか。

問 わが新温泉町は日本創世会議発表の消滅可能性自治体896団
体中、出産可能若年女性
性の減少率70%と上位

町長 医療、子育て環境、若者定住等の施策を積み上げる以外の切り札はないというのが現状だ。

166位にランクされ
県下でもワーストトップ
にある。統計上、年
平均約300人ずつ減
少していく現状を見
れば2〜30年後に人口
8000人台と半減し
中山間集落の消滅も考
えられる。長期的手立

問 何もしなければ加
速度的に人口減少は進
む。わが町240平方
キロの広大な面積に敷
設された上下水道、道
路維持すら30年後には
困難となることの危機
感を想像できるか。

町長 30年後そうなら
ないよう全力を挙げ努
力するというのが我々の
立場。そういう意味
で決定打はないといっ
ている。

問 今以上の打つ手は
ないといわれるとこれ
以上の議論は進まない。



宮脇 諭 議員

創世会議の示す数字
は若年女性の都市部流
出が地方の人口減少の
主たる原因としてい
る。町をあげてこの危
機に立ち向かうことの
重要性を問うている。

教育長 人づくりはま
ちづくり同様の思いで
ある。こども園から高
校まで成長過程を大事
に共に力を合わせ常に
取り組んでいる。

事業系ごみの分別資源化

問 北但ゴミ処理施設
完成まであと2年。持
込量の減量が今以上に
求められる。町民には
15品目の分別協力を強
めているが事業所のご
みの分別、単独持込
計画収集の事業所比率
は。

町長 事業系の一般廃

棄物の分別への理解は
不十分なのが現状。
単独持込が3割弱、
計画収集は7割強98事
業所である。

問 3月末に事業系廃
棄物の分別資源化の意
見交換会が行われてい
る。出席は何社か。

課長 参加は14社。

問 1割の参加で事業
所におけるごみの分別
に理解と関心のなさを
表している。

町長 現時点では分別
されず燃やしているの
が現状。

問 一般町民にのみ
分別を強いている現状
は不公平行政ではない
か。

町長 不公平といわれ
ればそうかとも思う。

問 事業系生ごみの共
同処理に力を入れては
どうか。

町長 一定の集団化処
理で事業者が連携する
なら対応は考える。



園児の増が待たれる認定こども園

問 人口減と所得減 なぜ増える町民税

町長 年少扶養控除が廃止されたため



西村 銀三 議員

問 合併した平成17年度と平成22年度を比較すると、個人町民税は、約1割増えている。その後もほぼ横ばいか微増となっている。一方で人口は約1割減っており、町民の総所得も約2割以上減っている。「住民税のしおり」には所得が減れば税金も減ると書かれている。また、法人町民税は景気の影響ですっと減少している。なぜ、個人町民税は下がらないのか。

課長 平成19年の国の税制改正と平成24年度

の子ども手当が支給されるに伴い、年少の扶養控除が廃止されることになったため、個人町民税が増える結果になった。

問 合併以降、滞納が増え続けている。また、取り立てを断念した不納欠損も増えている。町税、水道、下水、浜坂病院、ケーブルTV、町営住宅などの滞納金額はいくらあるか。

課長 26年3月31日現在で、町民税が182件で、1,403万円、法人税が1件13万円、固定資産税が190件で5,454万円、軽自動車税が94件で123万円、入湯税が1件で58万円、トータルが387件で7,053万円である。国民健康保険税の滞納は、

200件7,180万円である。水道は386件822万円、下水道が226件403万円、浜坂病院は120件で416万円、ケーブルテレビで28件62万円となっている。不納欠損額は平成18年度から24年度で、町税が約1億3,000万円、国民健康保険税で約2,100万円である。

問 こうしてみると、年々件数、金額ともどんどん増えている。町民の厳しい生活実態がみてとれる。問題は全体像をとらえて、今後どのような活性化策を打つかにある。企画課が今こそ前面に出て町の将来図を提示すべきだ。また、税金の使われ方は徴収以上に重要だ。1億円が3億にな

るような生きた使い方を考えるべきだ。

さらに、基金は15億円もある。ため込もうとするより、活性化の資金として使うべき



完成した味原川「小井津橋」

町長 基金はまだまだ足りない。町にとって必要な事業は鋭意努力して行ってきたつもり

だ。

一般質問

問

総務省所管「集落支援員制度」で地域再生を

町長 必要性は感じる。今後検討する。



中村 茂 議員

地域の安全安心と地域力の維持

問 急速に進む少子高齢化、特に地方では限界集落等が拡大している。住民が元気に活き活きと暮らすには、地域で人を育て、支え、分かち合うコミュニティが不可欠で、それが地域力である。本町の限界集落等の現状は。限界集落は行政の施策内に存在するのか。担当課は、具体的な施策と今後の対応は。

町長 町内115行政区で限界集落（65歳以上が50%以上）は19集落、準限界集落（55歳以上が50%以上）は75集落、合計94集落、81.7%が該当する。行政の施策で限界集落という用語は使っていない。担当課は限定せず関係する各課所掌事務に応じた指摘のようが実情。ご指摘のような視点での危機意識は常にもっている。今後の対応は各施策の積み上げで進めたい。

問 豊岡市では「新しい地域コミュニティのあり方検討委員会」を設置して地域力再生をめざしている。本町なりの行動と対策が必要では。

町長 集落に職員自ら足を運んで実情を把握

すべしは同感。目下、各担当での対応だが、現実的な課題として何が一番大事かを絞りながら、必要とあれば、そういう対応がされるべきである。

問 地域力の低下とも思える孤独死の発生が気になる。緊急通報システム”の運営状況と合併時比較で61台が減少、制度をフルに活用して住民を守っていくべき。ぜひ点検を。



地域力で開催されている「照来ふれあい市」

町長 現在、設置件数106台で浜坂地域57台、温泉地域49台。健康福祉課の事業でご指摘のとおり比較結果です。対象の皆さんには民生委員の協力をい

ただき説明やPRを行っている。事業の現状分析を行う。

問 総務省所管の事業で地域力の創造・地方の再生から生まれた「集落支援員制度」を導入して、限界集落なり

す。空き家の活用にも本腰を

そういう地域の活性化を図ることを提案する。

町長 限界集落のみならず十分な状況把握についての必要性は当然私も感じている。本年度の制度導入は現実的に難しいが、支援員は可能な限り地元から選任する思いで、今後検討させていただきたい。

空き家の活用にも本腰を

問 人口減少がもたらす副産物の一つが空き家。但馬内で本町のみが活用策がない。担当を明確にして条例化や空き家バンクの制度化を求める。

町長 空き家の調査権限には難しい問題がある。各集落にお願いした結果では町内に190戸の空き家があった。担当窓口は建設課、バンク制度はハードルが高いがU・J・Iターンの促進も含め、今しばらく時間をいただきたい。

問 浜坂海岸「松の庭」 保全が急務だ

町長 町の財産として次世代に引き継ぐ



池田 宜広 議員

問 現在の「浜坂県民サンビーチ」は昭和7年の植樹開始以来、幾度の難関を乗り越え7年もの歳月を費やし、ようやく今の松林の原形が整った。当時は12ヘクタールの植樹がなされ、その後は漁港等の整備や道路の拡張等の工事により、現在では4ヘクタールになっている。今日までに、昭和38年「山陰海岸国立公園」へ指定、昭和48年「県民サンビーチ」へ指定等々、現在に至



再生が急がれる浜坂海岸「松の庭」

るまで、建物・人・農作物等々を80年以上も風雪害等から守ってきた。この松林「松の庭」をどのような観点で見ているか。

問 数々の先輩方が血涙を持って今の姿に

完成させたと思う。

今、「子供たちの環境学習の場」・「観光資源」・「住民の憩いの場」であり、単なる飛砂防備林・保安林ではなく、その機能も十分に保護しながら、大切な財産

として守る事に関わりはない。

問 夏の時期、キャンプ・各イベント等で賑わう「松林」。暴風柵の現況を美化も含めてどのように把握しているか。

問 柵の全てを調査したわけではないが、部分的に倒壊の危険

かなりの腐食等見ている。町単独では出来ない施設の為、農林事務所、治山課と協議をし、調整をする。

問 ここ近年、毎年約100本もの松食い虫被害が発生している。今後の対策対応はどのように進めるか。

問 確かに最近被害が多い、さらに浜坂の山々を見てもかなり

枯れている。被害木においては伐倒処理をし、松くい虫に強い松「兵庫元気松」を植樹したい。

問 松食い虫防除について今後の対応は。

問 地上散布等それらの対応も当然ながら継続する。

問 清掃活動等、人の手で出来る保全の対策対応はどうか。

問 各団体の協力を得ながら、行政も対応し保護保全に努める。

問 「白砂青松百選」、「恋人の聖地」と選定を受けているが、この選定を婚活推進事業に活用してはどうか。

問 そういふ活用も当然あり得る。

一般質問

問

浜坂北小学校の通学の安全は

町長 通学の安全をできるだけ
配慮して対応をしていく



岩本 修作 議員

問 駅裏の道路が通

学路になっている生徒は、通学するには横断歩道を渡らければならないが、交通量が多くて非常に危ない。いつ事故が起きてもおかしくないといった状態だ。これについての対策は考えているのか。

問 横断歩道の位置を変えても、道路を横断することにはかわりはない。せめて歩行者専用の点滅信号をつけてはどうだ。

町長 横断歩道のつけかえはしたが、全面改良については難しい状況。



信号設置が急がれる駅裏通学路

課長 信号機を設置するのが一番安全な方策である。公安委員会と協議し検討していく。

スポーツ施設について

問 新温泉町の小学生、中学生のサッカー人口が昔に比べて増えている、小学生も50人

ぐらいサッカーをしている子がいる。中学校も全国大会に出場し、社会人チームも但馬で優勝している。しかし新温泉町にはサッカー場がない。低コストで管理のしやすい天然芝のサッカー場をつくってはどうだ。

町長 簡便で低コストでそういった事が可能ならば、対応もできるとかと思う。一回検討させていただきたい。

問 場所も温泉高校の跡地または、大学予定跡地等を利用して、ぜひサッカー場をつくるべきだ。

町長 いろいろと調査検討して、できるところであれば検討の上対応したい。



サッカー専用グラウンドが必要

問 移動販売車補助事業を提案する

町長 アンケート結果を見て検討する



中井 次郎 議員

問 地域を回ってみると、店がだんだんなくなっており、食料品の調達も難しいというところを感じた。
町民の声も聞いた。居組「地元、3軒の店から買う。道が良くなって、若い人は岩美に出ていくが、地元を大事にしなくては」
三尾「地元でも買うが、町民バスを利用して浜坂で買い物する」
湯村「生協を利用して。魚は移動販売車で買う」

熊谷「都会の息子が、危ないので免許証を返した方が良いというので返した。なんと不便なことか。買い物一つできない」

このような声である。ひとところのように音楽を鳴らして、品物を積んで売り歩く移動販売車は見られない。しかし、魚の販売車は少なくとも5台は見受けられる。その事業をやっているのは高齢のご婦人である。「いつやめるかもわからない」といつておられた。
免許証の自主返納、店舗の減少、結果として食料を含む買い物ができなくなっている。町長はこのような実態をどのように受け止め



高齢化社会対策として「買い物支援」が必要

ているのか。
町長 昨日、人口減少についてたくさん質問をいただいたが、その結果としてそのような事態になっており、加速していることは否

めない事実だ。
問 このような中で、私は宍粟市に「買い物支援策」の視察に行ってきた。宍粟市は旧千種町・一の宮町・波賀町・山崎町の4町が合

併してできた自治体である。買い物支援策として、移動販売車への改造、宣伝などに最高200万円の補助金制度を持っている。
その制度を受け、事業を展開している業者の一人は「きびしいが黒字です」と答えている。ぜひこの制度を町も導入しよう提案する。買い物支援と新規起業策にもなる。
町長 そのような事業を町が直接できないが、現在、商工会と一緒に買い物支援アンケートを取っているようだ。その結果を見て具体策は検討していきたい。

一般質問



谷口 功 議員

問 悪政から町民の暮らし・生業を守れ

町長 有効な対策案を持っていない

問 医療・介護総合法案は、町民の医療・介護分野のサービスを大幅に後退させるものだが、どのように把握しているか。

町長 介護保険の地域支援事業等、非常に負担感を感じる。限られたマンパワーで、非常に厳しい状況が生まれる。

問 具体的には、要支援1・2のサービスを介護保険から外すことになるがどうするのか。

町長 当然市町の負担

が増え、業務量が増加する。

問 二番目の問題が、特養ホームの入所基準を要介護3以上の人に限定とすることだが、対応は。

町長 突然の制度改正で、行政として有効な



入所基準が引き上げられた特養ホーム

対策案を持っていない。さらに、一定所得

以上の利用者の一部負担を2倍にし、食費・居住費の軽減打ち切りも予定されている。

町長 現在、町としての対策はない。

国保税引き下げよ

問 消費増税とアベノミクスで電気、ガス、ガソリン等生活必需品

の高騰で、家計と営業は圧迫されている。一方、年金は年々下げられている。これに国保税増税は暮らしを困難にする。

町長 物価は3・4%上昇しており、生活を圧迫する要因になっており、地方経済の回復も見られていない。

問 国保制度は社会保障の主要な制度の一つであり、一般会計の繰り入れで税の増額を抑えるべきだ。

町長 できるだけ負担を抑えるよう調整を図り、ぎりぎりの負担増をお願している。

農地は農民のもの

問 農政改革・農業特区・農地中間管理機構で農業はどうなるのか。

町長 特区は、農地法の権利移動の緩和、中間管理機構は、農地流動化の促進のため都道府県に一つずつ置く。

問 わが町の農業にプラスには成り得ないものだ。戦後農政の大転換で、農地を企業に持たせようとするものだ。

町長 農業委員の公選は大事であり守るべきものだ。農地行政をしっかりと守るべきだ。

教育の自主性を守ろう

問 教育委員会が自治体存在する理由は何か。

教育長 住民自らが独立した機関で子どもを育てるためだ。

問 中央、地方の政治から独立して教育を自主的に行うためのものがある。教育委員の首長任命制、首長が直接教育方針を定めるといふ改悪で、教育現場と子どもたちが最大の被害者になる。

教育長 教育の中立性が脅かされ、安定性、継続性が懸念され戦後最悪の一大改革だ。

問 釜屋漁港の整備を早急にすべきである

町長 県を通じ要望に応えるべく全力を挙げる



宮本 泰男 議員

- 問 平成24年12月アベノミクス政策に本町も「三尾、釜屋漁港整備」補正予算が決定。しかし、釜屋漁港は未整備である。理由は。
- 町長 24年度国の経済対策事業は漁港機能保全事業で緊急個所の整備が対象となる。
- 問 釜屋漁港の調査実施内容、着工予定は。
- 町長 港湾施設保全調査はした。港湾整備は大変な費用を要する。町単独では無理。補助事業等具体的な工事はこれからの話である。
- 問 本漁港は防波堤が低く少しの風波でも波が防波堤を越え安心し

て船が係留出来ない。釜屋の住民は防波堤のかさ上げ、港内整備を待ち望んでいる。

町長 今回防波堤かさ上げ工事は対象に無いが、防災、減災関連等、県を通じて要望に応えるよう全力を挙げる。



整備が急がれる「釜屋漁港」

梶野林道池ノ尾線の活用について

- 問 この林道をどう活用するか所見を伺う。
- 町長 機能的な林業振興、林内作業道の開設、林内の路網整理、切捨て間伐から搬出間伐等の活用を期待する。
- 問 観光事業（スノー

ツイベント、植物公園化、体と心を癒す散策道）等具体策はあるか。

町長 健康ウォーク等は自主的取組みが先行すべきと思う。

問 大規模な道は先輩から受け継いだ宝物。利活用の責務がある。

町長 価値ある道。健康志向、観光客誘致宣伝広報に努める。

通園、通学路の安全対策について

- 問 温泉小学校区湯区登下校の安全性確保は。
- 町長 応急対策の予算化はした。
- 課長 一部路側にグリーン帯図面整理中。
- 問 浜坂北小学校区、駅から通学路が無い。
- 町長 県の社会基盤整備登録待ち。
- 問 浜坂西小学校区、JR大栃川鉄橋下の通学路狭隘で危険、改善は。
- 町長 県道、JR関係

の中、拡幅ができない。課長 昨年一部グリーン化した。

水害対策について

問 防災基本計画の第1次避難場所の安全性に疑問がある。検証したか。

町長 25年一部修正したが、避難場所は従前のままである。

問 避難経路も含めて検証すべきである。左用町から災害を大きくした5要因と検証課題を聞いてきた。

- 1、避難命令が遅れた。
 - 2、災害対策本部立上が2時間遅れた。
 - 3、職員が本部等配属先に出向けなかった。
 - 4、本部は機能せず。
 - 5、通信網ダウン、パソコン不稼働。
- これらを参考に見直し検証すべきである。
- 町長 対応できる部分は対応する。

問

「増田レポート」にどの様に対処するのか

町長 特効薬や決定打はない



高橋 邦夫 議員

問 20年前、旧浜坂町議会において、40年後に人口が半減するに指摘された。それを証明するような増田レポートが出されが、どう受け止めたか。

町長 人口減少問題には、正面から対峙していくが、特効薬や決定打はないと思う。増田レポートは一つの仮説として、日本の人口減少傾向が色濃くあると感じた。

問 新温泉町を今後とも存続させるには、若者が定着することが一番大切だ。後顧に憂いを残さぬように、どうするのかを職員も議員も企業も町民も地域もみんなが力を合わせる組織を立ち上げ、厳しい現状をきちつと説明する。自らの地域は自らが創ると言う意識改革が必要だ。

町長 町民の皆さんや職員を含めチーム新温泉として人口減少問題に危機意識を持つて共に一歩でも前進しようとするのが、地方自治の本来の姿と考えている。

問 若者定着・流出には、行政による雇用の

創出も大事な事だ。任期付短時間勤務職員制度を導入してはどうか。

町長 今後とも地公法22条に基づく臨時職員として採用していく。

活性化への起爆としての「道の駅」に

問 栃谷インター近住

のある方から、新聞報道にあるような餘部規模の広さの「道の駅」なら造らない方がいい。目指す「道の駅」をはっきりとイメージし、その目的を達成するため万全の下準備が必要だ。今のところその様な取組が全く見えない。ただ「道の駅」を造ればいいというものでは決してない。と話された。町の活性化の起爆としての役割、阪神間に設置するサテ

ライトシヨップを上回る広告塔と発信力を持った「道の駅」とするならば決して反対するものではない。新たな協議会での論議を紹介して欲しい。

町長 予定の「道の駅」は県の社会基盤整備プロジェクトに搭載されることがスタートである



栃谷インターの予定地付近

り、用地取得のための予算化はその為であり、町の単独事業ではない。

現在は「道の駅」を設置するうえでの基本問題を論議している。管理運営の考え方や規模等については、これからの論議であり、決定はしていない。

総務教育常任委員会

平成26年6月10日開会

企画課

地域おこし協力隊について

任期は最長3年であり、週4日の非常勤の嘱託である。

総務省による財政支援であり、隊員1人に付き400万円の支援であり、内訳は報酬200万円、活動費200万円となっている。

税務課

平成25年度町税等徴収実績について

Q 不能欠損の内訳は、町税37件、国民健康保険税は22件、同じ人がいるので45件となっている。執行停止が3年過ぎると不納欠損となり、31件ある。停止中のもので5年が経過して時効がきたも

のが14件ある。
Q 議案49号新温泉町国民健康保険税条例の一部改正について

のが14件ある。

Q 基金からの繰り入れが7,000万円あるが基金残高はいくらになるか。
A 残高は7,000万円である。

Q 毎年7,000万円程度繰り入れて27年度はいいが、28年度以降はどうするのか。
A 現段階では、28年度以降において、基本は一般会計から繰り入

Q 麒麟獅子マラソンで大交流を掲げているが、3,000人に制限するのか。
A 3,000人以上の人数は警察の許可が降りない。現状ではこれ以上は難しい。

Q 以前の委員会です野雪村賞の入賞者の宿泊費を見てあげたらどうかと提案があったと思うが検討したのか
A 検討した結果、今年度は宿泊と旅費の一部をみていきたい。

Q 中学生のニュージーランド海外研修の



中学生海外受入事業

生涯教育課

第27回麒麟獅子マラソン大会参加実績について

れることは認めないということなので予防に力を入れることで医療費の軽減を図ってきたい。

Q 麒麟獅子マラソンで大交流を掲げているが、3,000人に制限するのか。
A 3,000人以上の人数は警察の許可が降りない。現状ではこれ以上は難しい。

Q 以前の委員会です野雪村賞の入賞者の宿泊費を見てあげたらどうかと提案があったと思うが検討したのか
A 検討した結果、今年度は宿泊と旅費の一部をみていきたい。

Q 中学生のニュージーランド海外研修の

行財政実施状況について

報告事項



議会を傍聴する中学生

子ども教育課

報告事項

平成26年度自然学校及びトライやる・ウィークの実施について

新温泉町「子ども議会」の開催について

10月27日に実施予定。

産業建設常任委員会

平成26年6月9日開会

牧場公園課

来園者の受入状況

Q 加工体験で但馬ビールを使っては。

A 金もかかるし、衛生上問題がある。

農林水産課

多面的機能支払交付金（昨年までは農地・水支払を組替、名称変更）

Q 管理組織してない地域がある、対応は。

A 農会長会等で説明している、推進していく。

人・農地中間管理機構（新しい制度・農地集積バンク）

Q 行政として推進するののか。

A 担い手が出来る状況を作っていく。

有害鳥獣捕獲実績

Q シカが増えている。電気策の効果は。

A 効果はある。

松くい虫の特別防除地上散布について

Q 効果があるのか。被害を少なくするため必要。

ズワイガニ・ホタルイカ水揚状況

Q 浜坂漁港のカニは安い、原因は何か分析してほしい。

A 調査して分析する。

報告事項

《全国表彰》2件

※（春来そば生産組合）

日本蕎麦協会会長賞

平成26年3月20日

※（丹土鶴谷放牧組合）

全国農業会議所会長賞

平成26年5月27日

建設課

26年度工事発注及び進捗状況について

下天山残土処分場の安全監視について

『山陰近畿自動車道フォーラム・イン・新温泉』の開催について

早期事業化促進に向けとき・26年7月26日午後1時30分、ところ・浜坂多目的二階ホールにて・参加を

報告事項
※浜坂道路の進捗状況（25年度までの事業）

一・事業費、109億円

一・用地、99%取得

一・進捗率、37%

一・29年度開通予定

※味原川環境整備完成

一・事業費、7,750万円

一・整備延長、1.23m

一・竣工式、5月24日

商工観光課

25年度、各指定管理施設の実績及び観光施設等の状況について

Q 各施設の損益は、赤字の扱いは。

A 施設ごとに収支を行う、事業全体では赤字になっている。

Q 杜氏館、改善しないと誰も来なくなる。検討する。

温泉バイナリー発電の運転状況について

Q 発電できない時間帯があると思う。

A タンクの水位が下がるため危険防止のため発電が停止する。



バイナリー発電竣工式（4月10日）

報告事項

《環境大臣表彰》

※（上山高原エコミュージアム）5月23日

○地域おこし協力隊2人募集し10月1日より町の非常勤嘱託職員として、農林水産の振興と都市との交流事業の支援にあたっていただきます。

環境福祉常任委員会

平成26年6月6日開会

上下水道課

報告事項

下水道接続率

Q 公共施設の接続状況が低いとその原因は何か。

A 努力しているが、財政の状況を考えるとなかなか接続できない。

Q 町民には勧めながら、公共の接続が低いでは問題だ。早急にせよ。

A 計画的に進めていく。

配水池進入道路

Q 新しい配水池を作るといふことで、その工事のための進入道路をつくる計画だが、その土地の所有者は何名か。

A 11名です。



配水池進入道路（二日市進入路）

町民課

北但ごみ焼却施設建設

Q 事業説明会があり、工期が6か月程度は遅れるという話だが、その原因は何か。

A 斜面崩壊・進入道路の土砂崩壊、計算間違いにより大量の土砂の発生による。

Q 計算間違いによる土砂発生量はいくらか。

A 3万5千³m。

Q 費用とその責任は。金額は明らかにってはならない、責任については重く受け止めている。

健康福祉課

地域活動支援センターの現状と統合

Q 統合により職員数削減、コストダウンが図られるとあるが、こんな表現は不適切だ。直します。

八田診療所医師不在問題

Q 医師がいなくなつて、薬も出ないという批判が出ている。医師確保はどうなっているか。

A あらゆる手を使い探しているが、年度途中で、人事の異動がなくまだ見つかっていないのが実情だ。ひきつづき努力する。



北但ごみ処理施設の建設状況



医師不在となっている「八田診療所」

公立浜坂病院

損害賠償等請求控訴、同付帯控訴事件

Q 判決確定が近いと思うが、差し押さえたのは100万円程度であり、残額の回収も可能性がない。その責任をとる用意はあるか。

A 重く受け止める。

Q 書類に押印した6人に責任を取らすべきだ。

A しっかり受け止める。

採決一覽

議会日誌

第 67 回定例会 議案採決一覽表 (H 26.6)

議案名	議員名																賛成	反対	採決
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16			
	中井勝	宮本泰男	小林俊之	小林一義	池田宜広	中村茂	岩本修作	谷口功	植田光隆	宮脇諭	西村銀三	谷田一富	岡坂峰雄	高橋邦夫	中井次郎	西村敏弘			
新温泉町非常勤の嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	-	12	2	可決
新温泉町税条例等の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	×	-	10	4	可決
新温泉町国民健康保険税条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	-	11	3	可決
新温泉町福祉医療費助成条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	-	11	3	可決
集团的自衛権行使を容認する憲法解釈変更に対する意見書の提出について	-	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	-	5	9	否決
医療・介護総合法案の廃案を求める意見書の提出について	-	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	11	3	可決

○は賛成、×は反対、-は議長職のため採決に加わらない。(全員賛成議案は省略)

議会日誌	日	内容
(4月)	4月7日	議会広報調査特別委員会
	4月14日	議会広報調査特別委員会
	4月30日	美方郡町議会連絡協議会総会
(5月)	5月2日	総務教育常任委員会 環境福祉常任委員会 産業建設常任委員会 議会運営委員会
	5月8日	第66回新温泉町議会臨時会
	5月19日	北但ごみ処理施設整備事業説明会
	5月21日	兵庫県町議会議員公務災害補償組協議会定例会及び評議員会 議《神戸市》
	5月27日	美方郡広域事務組合議会臨時会
	5月29日	議会運営委員会
	5月30日	兵庫県町議会議長会 第65回定期総会 議《神戸市》
(6月)	6月3日	第67回議会定例会
	6月4日	第67回議会定例会 (第1日)
	6月4日	第67回議会定例会 (第2日)
	6月4日	議会広報調査特別委員会

**町ホームページで
行政情報と議会一般質問の動画を配信中**

町民の皆さんに町行政や町議会への関心をいっそう高めていただくため、町ホームページで動画の配信を行っています。

ホームページの「ビデオライブラリー」のバナーからご覧いただけます。

6月6日	環境福祉常任委員会
6月9日	産業建設常任委員会
6月10日	総務教育常任委員会
6月12日	第67回議会定例会 (第3日)
6月13日	第67回議会定例会 (第4日)
6月30日	北但行政事務組合議会議員視察研修 《西宮市・愛知県刈谷市》



挿し絵 木本博明氏

岸田川燈籠流し・送り火について

送り火の会

代表 田中瑞穂

当会は、「ご先祖の供養と災害のない穏やかな暮らしを!!」の祈りを込め、町内の盆行事「仏送り」のお世話をしています。

仏送りはお盆の15日夜、清富の岸田川河口の白馬歩道橋付近で行われます。参加者は先祖の霊を慰める祈りを込めて、各自が持ち寄った灯籠を浮かべて手を合わせます。この行事は町内の有志が立ち上げて2001年から行われ、町民の熱いご要望とボランティアの方々の協力を受けて継続しております。

濱坂の仏送りは、昔は盆舟流しが行われていました。各町内ごとに初盆を迎えた御家庭を中心に寄り集まって板や藁で船を作りました。その船を提灯や供物で飾り、若い人達が泳いで沖まで運び、西方浄土への願いを



西方浄土へ願いを込めて（毎年8月15日）

込めて海の彼方へ送り出したのです。しかし、10数年前に環境への影響という点で、盆舟流しは断念せざるを得ない状況となりました。その後、有志による地道な活動が続き、現在の灯籠流しへとつながってまいります。送り火は祖先や先人を思い敬い、自分の心を浄化する行事と考えます。

昨年、灯籠を川に流し、ゆれる灯りに手を合わせて、涙を流しておられる女性の姿があり、この活動の原点を見た思いがし、活動の継続を確認しました。

今後は、関係各位のご理解とお力添えをいただき、同時に、熱意あるボランティアの方々のご協力を得て、誠意ある活動を行ってまいります。

理解とお力添えをいただき、同時に、熱意あるボランティアの方々のご協力を得て、誠意ある活動を行ってまいります。

編集後記

議員の政務活動費の不適切な使途について報道がなされている。他議会のこととはいえ、残念な行為だ。新温泉町の政務活動費は議員一人当たり年6万円、県議会の100分の1である。少ないながらも領収書の必要があり、間違いなく執行されていると確信している。

先日、小林一義議員が御逝去された。故人は活動的な議員であり、特に福祉には熱心であった。御冥福をお祈りするとともに故人の遺志を受けついでいきたいものだ。夏本番です。皆様、健康に気を付けてがんばりましょう。

(T・K)

議会広報調査特別委員会

委員長	中村 茂
副委員長	池田宜広
委員	小林俊之 岩本修作 植田光隆 中井次郎

発行者 議長 西村敏弘